

令和3年10月5日
生徒部防災係

避難訓練の実施について

目的 火災発生時における避難時の心構え、避難経路の把握、状況に応じた判断ができるよう実践的な訓練を行う。

期日 令和3年10月13日（水） ※訓練開始時間は授業中です。

方法 地震発生によるシェイクアウト訓練後、火災発生を想定した避難訓練
講師：熊本県教育委員会学校安全・安心推進課 指導主事 平田徳保 様
晴天時：運動場の体育館側に1年生、掲揚台側に3年生で並ぶ。学年、クラスごとに生徒同士の距離を取りながら整列・点呼し、担任→学年主任→教頭→校長へ報告。指導主事による講評。
雨天時：1年普通科は武道場、2・3年普通科は体育館、1～3年電子機械化はラボ（第6実習棟）へ分散避難し、クラスごとに点呼。クラスの生徒の確認ができれば教室へ移動し、放送による指導主事の講話を聞く。
蔓延防止時：シェイクアウト訓練後、雨天時の避難場所へ分散避難し、クラス毎に点呼し、教室へ移動。その後、放送による指導主事の講話。
感染悪化時：シェイクアウト訓練後、放送による指導主事の講話。

注意事項

- 避難訓練の日時は生徒には伝えません。地震・火災発生時刻も先生方にお伝えせずに実施します。
- 訓練時の授業担当者は出席簿を持ち、担任に当日の欠席者等の引き継ぎを確実に行ってください。
- 防災研修時のおり、防火扉による避難経路変更、不明者の搜索もありますので、状況に応じた判断を行ってください。
- 火災時の役割を確認し、初期消火班、警備班、連絡班、救護班の初動を確実に行ってください。
- 運動場から教室に戻る際は、昇降口に設置した雑巾でスリッパの底を拭くようご指示ください。

添付資料

時 間	避難訓練の活動内容（晴天時）
11:30	・指導主事、ホリタシステム様来校・事前打合せ
11:55	・シェイクアウト訓練開始（放送で地震警報 CD を流す） ・協力職員による防火扉開放（第1棟中央階段横） ・第1棟1～3階のトイレ前で発煙筒を焚く（バケツに入れて設置）
12:00	※発煙筒は無公害発煙筒を使用 ・火災発生（第2棟1Fトイレ横の非常ベルを押す） ・警報システムにより火事発生、火元の放送（自動音声）。 ・放送班（事務部）により「第2棟売店付近で火災発生、生徒は落ち着いて避難してください。初期消火班は火元へ急行してください。」と放送する。 ・授業担当者は生徒を運動場へ誘導。防火扉や煙の状況を見て経路を決定する。 ・避難場所で整列させ人員確認（授業担当者は担任へ引き継ぎ各自の役割へ） ・担任は学年主任に避難状況を報告 ・各学年に1名ずつ不明者（防災委員に依頼）が逃げ遅れている設定で、警備班による搜索訓練（2名もしくは3名1チームで行動）人員が足りない場合は、避難場所にいる担任以外の先生で補う。 ・避難中の怪我や気分が悪い生徒は救護班（テント）で状況把握し様子を見る。 ・不明者の避難が完了後、再度避難状況を報告。 ・初期消火班は火元付近に集合し、防火設備を管理するホリタシステムから消火器の使用方法や水消火器で初期消火講習を受ける。その後避難場所へ。 ・各班の職員を確認し、教頭へ報告 ・全体の避難完了を校長へ報告
12:30	・指導主事による講評 ・諸連絡をして解散
12:45	※昇降口に濡らしたマットと乾いたタオルを敷いておく
12:45	・校長室へ移動 ・指導主事による振り返り（参加者：校長・教頭・事務長・主幹・防災主任）
13:30	・指導主事の見送り
終礼時	各クラスで避難訓練アンケートを実施・回収 職員アンケートを classroom で実施

<準備物> ・記録用カメラ ・発煙筒（バケツ3つ） ・足ふきマット ・タオル
・グラウンド用マイク ・ハンドマイク ・生徒用アンケート
・売店へ事前説明 ・事務室へ事前説明

添付資料

時 間	避難訓練の活動内容（雨天時）
11:30	・指導主事、ホリタシステム様来校・事前打合せ
11:55	・シェイクアウト訓練開始（放送で地震警報 CD を流す） ・協力職員による防火扉開放（第1棟中央階段横） ・第1棟1～3階のトイレ前で発煙筒を焚く（バケツに入れて設置）
12:00	※発煙筒は無公害発煙筒を使用 ・火災発生（第2棟1Fトイレ横の非常ベルを押す） ・警報システムにより火事発生、火元の放送。 ・放送班（事務部）により「第2棟で火災発生、生徒は落ち着いて避難してください。初期消火班は火元へ急行してください」と放送する。 ・授業担当者は生徒を誘導。防火扉や煙の状況を見て経路を決定する。 ・1年普通科は武道場、2・3年普通科は体育館、1～3年の電子機械科はラボへ避難する。 ・避難場所で整列させ人員確認（授業担当者は担任へ引き継ぐ） ・体育館・武道場に避難したクラスは、学年主任又は教頭へ報告。ラボに避難したクラスは学年主任又は主幹へ報告。 ・不明者捜索訓練は行わない。 ・初期消火班は火元付近に集合し、防火設備を管理するホリタシステムから消火器の使用方法や水消火器で初期消火講習を受ける。その後避難場所へ。 ・主幹はラボの避難状況を教頭へ報告 ・教頭は全体の避難完了を校長へ報告 ・放送「避難が完了しました。生徒は各自教室へ移動してください」 ・生徒は担任の誘導で各クラスへ移動後着席
12:20	・指導主事による講評（放送） ・防火管理者（校長）による講話（放送）
12:45	・諸連絡
12:45	・校長室へ移動 ・指導主事による振り返り（参加者：校長・教頭・事務長・主幹・防災主任）
13:30	・指導主事の見送り
終礼時	各クラスで避難訓練アンケートを実施・回収 職員アンケートを classroom で実施

<準備物> ・記録用カメラ ・発煙筒（バケツ3つ） ・ハンドマイク
・生徒用アンケート ・売店へ事前説明 ・事務室へ事前説明

添付資料

避難訓練の様子



生徒が混雑する階段の様子



校舎から屋外へ避難する様子



煙で視界が悪くなる様子



初期消火訓練を終えた職員



不明者捜索訓練のチーム編成の様子



不明者役の生徒を発見



不明者の避難完了の様子



県の学校防災担当者より講評